

姫路科学館友の会会報 第185号〈2023年7月〉(友の会事務局発行)

## 7月30日(日)は「土用の丑の日」

夏バテ防止の食べものの一つとして鰻が思い浮かびますが、その効果は1200年以上前から知られていたようで、大伴家持が、「…夏痩せに良しといふ物そ 鰻取り食せ」と万葉集で詠んでいます。

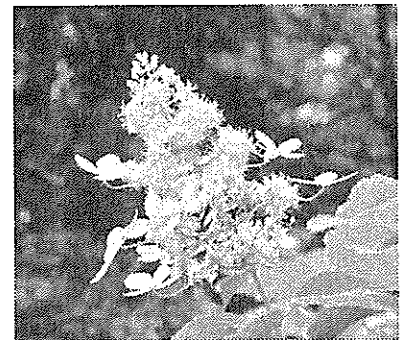
夏本番です。自分に合った楽しい夏バテ対策を考えつつ、暑い季節を乗り越えられると良いですね。

(友の会会長 上田倫範)

## 花の歳時記「ノリウツギ」(アジサイ科)

日本では、北海道から九州の山野や山地の林縁等に自生する落葉低木です。7月から9月にかけて、枝先に白色の小さな花がピラミッド状に集まって咲きます。開花時期は、一般的なアジサイより遅いです。遠目からはガクアジサイのように見えますが、花の咲いている様は、カシワバアジサイに似ています。この花には、ハナカミキリやハナムグリなどの訪花性の昆虫が多く集まります。

ウツギのように初夏に白い花を咲かせ、樹皮に含まれる粘液が和紙をすくための糊として使われたところから、この名がつけました。



(友の会理事 古角孝之)

## 館長の科学館だより 姫路科学館近況 令和5年6月

科学館南の池のそばの樹上に今年もモリアオガエルが泡で包まれた卵塊を産みつけていました。先日見に行くと泡が小さく萎んでいたのが、無事オタマジャクシになって、池に落下したのでしょうか。ここは野鳥や昆虫など四季折々の動植物を間近で観察できる自然公園になっており、館内展示と屋外観察と二度楽しむことができる和みの場所です。「科学の屋台村」も昨年度より規模を大きく開催します。これから夏を迎え、暑さも増していきますので、涼みがてら気軽に科学館に寄って頂ければありがたいです。

追伸:「姫路科学館はツイッターを始めました!」

(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

### 【目次】 P1 会長挨拶(友の会会長 上田倫範)

花の歳時記(友の会理事 古角孝之)

館長の科学館だより(友の会常任理事 姫路科学館館長 中川吉郎)

P2 ヤマガラ通信(元姫路科学館専門員・西播愛鳥会 森田俊司)

P3 地球と生命の歴史(姫路科学館 学芸・普及担当課長補佐 徳重哲哉)

「科学の足あと」シリーズ(元姫路科学館 吉岡克己)

P4 南阿蘇からのお便り(南阿蘇ルナ天文台 福澄孝博)